

1. 概要：

- ・初参加2名を含む総勢8名で「センスとは何か」という問いを掲げて、主に、センスを感じた具体事例を挙げて共通点を探しながら、センスとは何か、先天的か後天的かについて対話し、考えた。

2. 対話：

(0) 問いの提起

- ・進行役から、私達が「センスが良い・悪い」と表現するときのセンスについて考えたいと説明し、今日の問い「センスとは何か？」を提起して対話を始めた。

(1) センスを感じる具体的な事例は？

- A：哲学カフェに参加して対話が話し易かったとき進行役に。B：服装・ファッションがその人に似合っているときその人に。C：何かを要領良くこなせるときその人に。D：スポーツ（例：ゴルフ）ですぐ上手くなる人に。E：色彩や構図の上手い絵を描く人に。F：文章を上手に書く人・数学を簡単に解ける人に。

(2) センスとは何か？

- ・センスは日本語で言う「感覚」だが、その意味では **Feel** と変わらない。英英辞書で引くと「**an ability to understand value, or react to something**」であり、価値を理解したり何かに反応したりする能力である。
- ・どんなに格好が良いファッションを身に付けていても、本人の鼻毛が出ているとファッションセンスを感じられない。一方で、同様に鼻毛が出た人に音楽のセンスを感じることもある。
- センスがあるかどうかは判るが、センスがないことはすぐに判るだろうか。
- ・センスとはマーケティング力である。ファッションなら万人受けするモノが何か、仕事ならその職場での仕事のやり方のコツは何かをパッと理解できる人がセンスのある人である。→ここでマーケティング力とは、リサーチ力という意味である。
- ・マーケティングのリサーチでは今が分かるだけだが、それを超える何かが必要ではないか。パリコレ、アジビラ（全共闘）や自殺未遂ライブ等を感じるセンスは、同時代性を超えた何かがあったからである。→その何かとは、「**React to something**」なのではないか。
- ・センスという語義には、①問題に対応（解決）する能力、②高い創造力の2つの側面がある。美的感覚は創造的よりも保守的という意見もあるが、創造性はマーケティング力と関連性があるという考えとないという考えの2つがある。

(3) 事例から考えるセンスとは何か？その1

- ・子供の名付けにはセンスの良し悪しがあるが、子供の抱き方の場合はセンスの良し悪しではないように思うし、問題解決ではないように思う。
- ・ゴッホがその飛び抜けた創造性があっても同時代ではあまり周りから評価されなかったように、（創造性がある芸術的）センスを持っていても失敗することがある。
- ・センスは、マーケティング力に加えて、多数派に受け入れられる何かちょっとした創造性を提供しないと感じられない。だから問題解決力ではないと思う。→教えられたことをそのまま行う能力であれば、それはセンスではない。
- ・ゴッホの創造力は同時代で評価されなかったが、同時代で評価された創造力を発揮したシェークスピア等の事例はある。→ゴッホについて、初期はデッサンを見てもバランスが悪く下手であったが、経験を経て上手になり、その後印象派の影響を受けた土台（薄味）の上にあの独特のタッチ（濃味）を乗せて創造性を出し、死後に評価された。

(4) 生まれつきに備わっている（先天的）能力か、経験によって培われる（後天的）能力なのか？

- ・スラムダンクの魚住という登場人物は、背が高いがバスケットは下手。彼に対して、コーチが「私は君の背の高さを変えることはできないが、バスケットを上手くすることはできる」という場面がある。背の高さを変えられない（生得的）が、バスケットのセンスは（練習による経験で）後から磨くことができる（後天的）。
- ・小説等のテキスト読解には創造的誤読という手法があるが、経験で創造性を磨くことはできる。
- ・アウトプットに着目すると、バスケットができる能力は後天的だが、数学を少し勉強したらスラスラできる能力は後天的と思う。

(5) 事例から考えるセンスとは何か？その2 + 先天的・後天的？

- ・麻婆茄子を料理する場合を考えてみる。冷蔵庫に茄子がない場合に冷蔵庫から代用物を選ぶことになるが、料理が台無しになる代用物を選んだときはセンスがなく、逆に茄子よりも美味しい料理に仕上げることでできたときはセンスがある。この場合に、「こんな感じで行ける」という感覚の精度が高い能力をセンスというのではないか。
- ・この事例なら、茄子の代わりに苆を選ぶと台無しだが、ピーマンであれば美味しくできるだろうという感覚・ひらめきである。→結果を見れば分かるが、見る前は先天的か後天的かは判断不能ではないか。
- ・センスは予測力と構成力。予測力は、「こんな感じで行ける」という予測であり、構成力は、複数の要素に分解し要素一つひとつを良いものに仕上げ、それら組み合わせを時間軸に沿って構成することである。麻婆茄子の場合は、美味しさを各要素に分解し美味しさを損なわずに茄子の代用品を探す能力である。
- 私なら、茄子の代わりに積み木を入れて新しい作品を作り出したときにセンスを感じると思う。
- ・ちょっとした創造性、つまり+αのアウトプットが、その周りの期待を超えたときにセンスを感じると思う。→何を目的にするかで変わる。a)普通に美味しいモノを期待している人達へは、茄子の代わりは水分を良く吸ってタレと絡むズッキーニを選ぶと美味しいと受け入れられる。b)新しい作品を期待している芸術家へは、茄子の代わりに積み木を選ぶと新しいオブジェとして受け入れられるかもしれない。
- センスには努力は不要なのか。→先天的でもあり、後天的でもある。
- ・センスは3階層構造になっている。第1層（下層）は、マーケティング力で周りが何を期待しているかをリサーチしそれを理解する能力、第2層（中層）は、従来の常識を良く把握し何が提供されてきたかが提供されていなくて新しいかを把握する能力。第3層（上層）は+αの部分で、それらを踏まえて新しさをひらめいて創造する能力。下中層は経験と努力が必要（後天的）だが、上層は先天的かもしれない。下中層の99%は経験と努力で、残り上層は1%が才能と思う。

3. まとめ

- ・麻婆苆に<センス>があるか否かは意見が分かれるポイントと思う。一方、対話の最終盤に提題者自らが提起した<センス>を3階層構造として各層を生得的か後天的かを判断できる捉え方は一定の納得が得られ、腑に落ちた。